

初等芸術教育学科

配当 年次	必須 区分	科目名	授業 形態	概要	単位数		
					通信	面接	計
1 年次	必須	体験演習	演習	学校、幼稚園、施設、病院などへ見学に行き教育や療法について理解を深める。	1	1	2
		教職概論(初等) 小 幼	講義	教職にかかわる全般的な事柄の理解を図ると共に、現代のあるべき教師像を考察する。	2		2
		初等教育論	講義	教育の基礎である「初等教育」について、その重要性を学校現場の実情を踏まえて学ぶ。	4		4
		芸術療法論	講義	芸術療法の歴史を学ぶと共に、音楽や絵画など芸術療法の方法を学習する。	4		4
	選択 必須	国語Ⅰ 小	講義	子どもたちが「話す」「聞く」「書く」「読む」の基礎力を養う方法について考察する。	2		2
		算数 小	講義	「数の概念の理解と計算」「図形の理解」「集合と論理」について学び、数学的思考法を身につける。	2		2
		生活 小	講義	生活科とは何かについて、学校・家庭・社会など多方面から学び、基礎的な理解を深める。	2		2
		音楽Ⅰ 小	講義	楽譜を読み取るための基礎知識を身につける。また音楽理論の基礎を学ぶ。		2	2
		図画工作Ⅰ 小	講義	「子どもの創作活動の基礎的な能力を育てる」ことを目的とした指導方法を、具体的な題材例をもとに学ぶ。		2	2
		体育 小	講義	身体活動における論理を学び、健康の重要性や身体の仕組みを理解する。	2		2
		社会 小	講義	社会科の成立とその後の展開を学びながら、生活科や総合的学習の時間の取り組みとの関連を考察する。	2		2
		理科 小	講義	小学校理科で扱う物理、化学、生物などの各分野について学び、基礎学力を身につける。	2		2
		幼児と健康 幼 保	講義	幼稚園教育要領や幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づいて、子どもの体づくりに必要な事柄を学習する。		2	
		幼児と人間関係 幼 保	講義	乳幼児期の人間関係の発達の特長や現代社会の状況などを踏まえて、領域「人間関係」のねらいや内容を理解する。		2	
		幼児と環境 幼 保	講義	乳幼児にとりどのような環境が大切なのか、「遊び」の実際から環境の在り方について、習得する。		2	
		幼児と言葉 幼 保	講義	乳幼児教育の基本を踏まえ乳幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定する。		2	
		幼児と音楽表現Ⅰ 幼 保	講義	保育園・幼稚園教育において育みたい資質・能力について、又表現領域のねらい内容について理解する。		2	
		幼児と造形表現Ⅰ 幼 保	講義	身近な素材や環境を用いた造形あそびを体験し、柔軟な保育を実践する力を身につける。		2	
		教育課程総論(初等) 幼 保	講義	幼児教育課程の意義と必要性や教育課程の変遷、保育内容、保育実践の課題について学ぶ。	2		2
		保育原理 保 社	講義	保育の意義を理解し「保育所保育指針」の基本について認識を深め、保育の目的、目標、内容、方法について実践的知識を身につける。	2		2
		教育原理 保 社	講義	教育の意義、目的、方法、内容、制度行政、教育者、保育者などに関する基本的な歴史や思想について学ぶ。	2		2
		子ども家庭支援論 保 社	講義	社会福祉の専門職であることを理解し、対人援助として必要とされる家庭支援の意義、方法、技術について学ぶ。	1	1	2
		社会的養護Ⅰ 保	講義	子ども福祉との関連性及び子どもの権利、擁護、制度を理解し、子ども人権擁護、自立支援、社会的養護の現状と課題について考察する。	1	1	2
		保育の心理学 保	講義	保育実践にかかわる心理学の知識を基礎から習得し、子どもの発達理解、人との相互的にかかわりについて理解を深める。	2		2

※両コースにおいて、全ての科目を選択(履修)可。但し卒業所要単位数の内訳は、コースにより異なります。

▶次ページに続きます。

小 小学校教諭1種免許状取得科目 幼 幼稚園教諭1種免許状取得科目 保 保育士資格取得科目 社 社会福祉主事任用資格取得科目

■科目名・概要については変更になる場合があります。

初等芸術教育学科

配当 年次	必須 区分	科目名	授業 形態	概要	単位数		
					通信	面接	計
1 年次	選 択 必 須	子ども家庭支援の心理学 保	講義	生涯発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。家庭の意義や機能を理解するとともに子育て家庭をめぐる現代の社会的状況及び子どもの精神保健とその課題について考察する。	2		2
		子どもの理解と援助 保	演習	ことばの概念の理解、学習方法を踏まえた上で子どもたちや保育者とのかわり、援助や環境構成などグループワークを通して考察する。		1	1
		子どもの保健 保	講義	子どもの心身の健康増進を図る保健活動に理解を深め、心身の健康及び安全の実施体制などについて考察する。	1	1	2
		子どもの食と栄養 保	演習	栄養学の基本を学び、子どもにとって望ましい栄養の摂取、食品の選択、献立表の作成、食育など実践に役立つ知識を深める。	1	1	2
		社会的養護Ⅱ 保	演習	施設で生活する子どもの援助方法や治療的支援、自律支援などの内容、ソーシャルワークの方法と技術などについて学ぶ。		1	1
		子育て支援 保	演習	保育相談に必要な子どもの発達や親子関係、家庭や保護者についての理解を深め、相談援助のための技術を体験的に学ぶ。		1	1
	選 択	音楽療法論Ⅰ	講義	先天的発達の遅れや後天的な事故・病気の治療法としての音楽運動療法の習得をめざす。	2		2
		臨床心理学概論Ⅰ	講義	幼児教育、初等教育に携わるものとして最低限必要なカウンセリングマインドを養うための基礎知識を学ぶ。	2		2
		絵画・造形療法論	講義	芸術療法の理論および子どもや生徒への絵画・造形療法の基礎知識を学ぶ。	2		2
		デッサン	実習	鉛筆を用いた対象物の描写、ボールペンを用いた人物スケッチにより、デッサン力を養う。	1	1	2
		イラストレーション	実習	ビジュアルによるコミュニケーションの効果を、基本的な造形法・構成法・色彩という3要素から理解する。	1	1	2
		立体造形	実習	自宅ではケント紙などの材料で造形の基礎を学び、教室では石や木を素材とした本格的な彫刻活動に挑戦する。	1	1	2
2 年次	必 須	演習Ⅰ	演習	体験演習の学修をもとに「演習Ⅰ」では教員それぞれの専門分野の一端に触れ、教育と芸術の両面にわたり段階的に専門性を高めていく。		2	2
	選 択 必 須	小学校教育課程総論 小	講義	小学校教育課程について主に学びながら初等教育における学校づくりや、カリキュラムについて学ぶ。	2		2
		教育学概論(初等) 小 幼	講義	先達の教育観を学び、世界の教育思想や学校・家庭・社会における教育について理解を深める。	2		2
		教育心理学(初等) 小 幼	講義	子どもに影響を及ぼす遺伝と環境の側面を踏まえながら、子どもの発達・学習過程について学ぶ。	2		2
		人権教育論(初等) 小 幼	講義	人権教育関連決議や行動計画、人権教育に関わる法律及び基本計画、そして指導方法等に関するとりまとめ、また基本的人権を踏まえ、国内の人権問題を学ぶ。	2		2
		特別支援教育理論(初等) 小 幼	講義	特別の支援を必要とする幼児・児童・生徒に対し、実際の現場で役に立つ知識を身につけ、障害のある幼児・児童・生徒のみならず、それを必要とする者への適切な支援が行えることをめざす。	2		2
		音楽Ⅱ 小	講義	西洋音楽における音楽文化の史的変遷を音・音楽・楽譜から学ぶ。	2		2
		図画工作Ⅱ 小	講義	幼児の造形表現活動を援助する指導者として必要な「描く」「作る」「使う」などの基礎的な理論と技術を学ぶ。	2		2
		家庭 小	講義	小学校5年生からはじまる「家庭科」について、子どもたちの生活実態を視野に入れながらその意義などを検討する。	2		2
		英語(初等) 小	講義	「聞くこと」「話すこと(やりとり)」「話すこと(発表)」を指導レベルにするためのトレーニング、指導者として授業実践に必要な「書くことから」も身につける。	2		2
		音楽科指導法Ⅰ(初等) 小	講義	子ども期の発達特性を踏まえながら、音楽教育の基礎的理論を学習し、具体的な指導法のあり方を検討する。		2	2
		図画工作科指導法Ⅰ 小	講義	描く・作る・使うなどの造形表現を通して創造する能力を養い、造形教育の指導者としての資質を培う。		2	2
		体育科指導法 小	講義	生涯にわたり楽しく明るい生活を営むための基礎づくりをめざし、体育に関する指導法の基礎を学習する。	1	1	2

配当 年次	必須 区分	科目名	授業 形態	概要	単位数		
					通信	面接	計
2 年次	選 択 必 須	国語科指導法Ⅰ (初等)	小 講義	国語科教育に必要な基本的技術を学習。「読むこと」「書くこと」の指導法について実践を交え理解を深める。	1	1	2
		生徒指導と進路 指導論(初等)	小 講義	いじめ・不登校をはじめとする生徒指導上の問題を学校現場での具体的な実例を交えて学ぶ。	2		2
		保育内容指導法総論	幼 保 演習	保育内容における 5 領域(健康、人間関係、環境、言葉、表現)について、その指導法を学習する。	1	1	2
		音楽療法論Ⅱ	講義	先天的発達の遅れや後天的な事故・病気の治療法としての音楽運動療法の習得をめざす。	2		2
		道德指導法(初等)	小 講義	現代社会における道德の諸問題を検討し、道德教育の基礎を学ぶ。また年間指導計画の作成などを具体的に学習する。	2		2
		教育方法論(初等)	小 幼 保 講義	学校教育における指導の方法と技術について学び、現代における教師像のあり方を探究する。	2		2
		教育とICT活用の 理論と方法	小 演習	ICTを活用する意義や理論を理解し、授業でICTを活用して指導する能力、情報活用の基盤となる知識について指導育成する方法を身につける。		1	1
		保育内容(健康)	幼 保 演習	発達過程における乳幼児期の位置づけと特徴を理解し、健康管理をするうえで保育者が果たすべき役割を学ぶ。	1		1
		保育内容 (人間関係)	幼 保 演習	子どもの人間関係について、教育心理学の基本も踏まえつつ、保育・学校現場での具体的な実例を交えて学ぶ。		1	1
		保育内容(環境)	幼 保 演習	幼児教育とかかわりのある生物の基礎知識を学ぶ。また幼児の感性や理解の仕方を踏まえた指導法を検討する。	1		1
		芸術表現演習Ⅰ (造形)	保 演習	さまざまな造形素材の体験を通して「造形活動」の意義や目的を理解し、子どもの表現活動を高める手立てや指導方法を身に付ける。		1	1
		芸術表現演習Ⅱ (音楽)	保 演習	発声や話し方、良い表現とは何かを考える。子どものための音楽劇につながるよう、表現のいろいろな方法を体験する。		1	1
		芸術表現演習Ⅲ (身体)	保 演習	子どもの全面的な発達、そして様々な対象者へのムーブメント活動の重要性と実際を習得する。		1	1
		こども文化論	保 講義	子どもの健やかな発達を目的とし、子どもへの読み聞かせや紙芝居の演じ方などの技術を身につける。	2		2
		発達心理学	保 講義	子どもの行動やこころの背景にあるさまざまな意味を知り、適切な対応と支援について考察する。	2		2
		言語障害論	保 講義	言語情報処理と言葉を生み出すメカニズムの基礎を学び、言語障害をもつ困難と適切な対応について考える。	2		2
		子ども家庭福祉	保 社 講義	子ども家庭福祉の制度、少子化と子育て支援サービスや障がいのある子どもへの対応など現状と課題について理解を深める。	2		2
		社会福祉	保 社 講義	現代社会における社会福祉の意義と歴史的移り変わりや子ども福祉及び子どもの人権との関連性について考察する。	2		2
		保育者論	保 講義	保育者の役割と倫理について理解するとともに、保育士の制度的位置づけを理解しその専門性について考察する。	2		2
		乳児保育Ⅰ	保 講義	乳児保育の理念と役割、乳児保育の現状と課題 3 歳児未満児の発達と保育内容を学び、知識・技術ともに理解を深める。	1	1	2
		乳児保育Ⅱ	保 演習	3 歳未満児の発育・発達を踏まえて生活や遊びの実際を考察する。乳児保育の方法や環境の構成、乳児保育における配慮の実際について理解し指導計画の作成を学ぶ。		1	1
		子どもの健康と安全	保 演習	子どもの疾病と予防法や適切な対応、救急時や事故防止の対応、安全管理について実践的な学習を進める。		1	1
		保育実習指導Ⅰ	保 演習	保育実習や実習施設の概要ならびに実習内容や段階を理解し、実習記録の方法、実習に臨む心構えを学ぶ。		2	2
		絵本の読み聞かせ	保 講義	幼児教育や小学校教育の中で絵本をどのように活用するのか、具体的な理論や方法を学ぶ。		1	1
		絵本の表現	保 講義	1 冊の絵本制作を通し、テーマ設定・編集・文章表現・イラストなど各段階における工程について学習する。	2	2	4

※両コースにおいて、全ての科目を選択(履修)可。但し卒業所要単位数の内訳は、コースにより異なります。

▷次ページに続きます。

小 小学校教諭1種免許状取得科目 幼 幼稚園教諭1種免許状取得科目 保 保育士資格取得科目 社 社会福祉主事任用資格取得科目

■科目名・概要については変更になる場合があります。

初等芸術教育学科

配当 年次	必須 区分	科目名	授業 形態	概要	単位数		
					通信	面接	計
2 年次	選 択	臨床心理学概論Ⅱ	講義	幼児教育、初等教育に携わるものとして最低限必要なカウンセリングマインドを養うための知識を深める。	2		2
		器楽合奏法	演習	リコーダーの基礎的な演奏技術を習得すると共に、子どもに教えるための指導法についての知識と技術を学ぶ。	1	1	2
		合唱	演習	音楽表現者としてのメンタリティーを高めると共に、歌唱技術の向上とアンサンブル表現の体得をめざす。		2	2
		ピアノ1(初等)	実技	幼児教育、初等教育における音楽活動に必要なピアノ演奏技能の向上をめざす。		2	2
3 年次	必 須	演習Ⅱ	演習	4 年次の「卒業研究・論文」に備えて、「テーマの決め方、研究の進め方、論文の書き方」を実際的に学ぶ。		2	2
	選 択 必 須	こどもふれあい 体験実習	小 幼 実習	子ども同士または子どもと学生の触れ合いを目的とした実習を通して、子どもの理解に努める。 ※ 6 月にはじまり 2 月で終了する一年通しての履修になります。	1	1	2
		国語Ⅱ (書写)	小 講義	万葉仮名や連綿法などの仮名表現を学ぶ。また仮名文学作品を読解することで、書くこと・読むことへの理解を深める。	2		2
		幼児と音楽表現Ⅱ	幼 保 講義	乳児において育みたい資質・能力について理解し、幼児の発達に即した主体的で対話的で深い学びが実現するよう具体的指導場面を想定して教育研究をするとともに指導法を身につける。	2		2
		幼児と造形表現Ⅱ	幼 保 講義	幼児の絵画について、発達段階を理解し年齢に応じた適切な指導を行えるよう基礎的な知識を学ぶ。	2		2
		国語科指導法Ⅱ (初等・書写)	小 講義	書くときの姿勢や筆記用具の持ち方、文字の形など、具体的な指導法のあり方を検討する。	2		2
		音楽科指導法Ⅱ (初等)	小 講義	歌唱・器楽・鑑賞などの学習指導のあり方と共に、子どもの能力を引き出すアプローチを学ぶ。	2		2
		図画工作科 指導法Ⅱ	小 講義	図画工作の特質、材料・用具・技法を学び、指導計画、指導案作成及び評価方法を習得する。	2		2
		社会科指導法	小 講義	教材研究の進め方や授業への取り入れ方を学ぶと共に、子どもの発達段階を考慮した学習指導案を作成する。	1	1	2
		算数科指導法	小 講義	基礎的教科として位置づけられる算数科の指導法を講義形式で、具体的な授業法を身につける。	1	1	2
		理科指導法	小 講義	子どもの理科離れが指摘される中、興味をもたせるための動機づけの方法や効果的な指導法を学習する。	1	1	2
		生活科指導法	小 講義	子どもの発達特性への理解を深めながら、生活科の意義や有効な授業のあり方を考察する。	1	1	2
		家庭科指導法	小 講義	日常生活に必要な基礎的知識や技能を身につけることができる授業のあり方を、模擬授業などを通して学ぶ。	1	1	2
		英語科指導法	小 講義	日本と外国の言語、文化の違いについて学び、多様なコミュニケーション能力を身につける指導法を学ぶ。	1	1	2
		特別活動指導法 (初等)	小 講義	学級活動(ホームルーム)、学校行事について内容と指導法、評価などを学ぶ。	2		2
		教育相談(初等)	小 幼 保 講義	さまざまな問題を抱える子どもへのカウンセリングの基礎理論を学習する。	2		2
		教育社会学(初等)	小 幼 講義	教育に関する社会的、制度的側面を考察しながら、現代における教育課題の解決方法を探る。	2		2
		保育内容(言葉)	幼 保 演習	実践や絵本作成を通して、子どもの発達バロメーターとなる言葉・コミュニケーションに関する指導法を学ぶ。		1	1
		保育内容(表現)	幼 保 演習	聞く・歌う・作る・書くといった幼児のさまざまな表現についての知識を深めると共に、自らの表現的感性を磨く。		1	1
		子ども文化演習	保 演習	子どもたちの成長はどのように促されていくのか、子どもの文化はどのように形成されていくのか考察する。子どもたちが見聞き体験する日常の様々なものごとに触れ、子どもたちが成長するために必要なものごととの関わり方の工夫について考察する。		1	1
		障害児保育Ⅰ	保 演習	特別支援教育の特徴や障害児個々の特性や心身の発達等に応じた援助や配慮について理解する。配慮を要する子どもの保育における計画の作成や援助の具体的な方法について学ぶ。	1		1

配当 年次	必須 区分	科目名	授業 形態	概要	単位数		
					通信	面接	計
3 年次	選 択	障害児保育Ⅱ 保	演習	障害児その他の特別な配慮を要する子どもの家庭への支援や関係機関との連携・協働について理解し、保育に関する現状と課題についても理解を深める。		1	1
		幼児理解の理論と方法(幼児) 幼 保	講義	子どもの運動・認知・言語・社会の発達について理解し、具体的な援助のための知識と技術を学ぶ。	1	1	2
		介護等体験 小	実習	小学校教諭 1 種免許状取得希望は必須。特別支援学校 2 日、社会福祉施設 5 日、合計 7 日の実習を行う。		1	1
		保育実習Ⅰ 保	実習	保育所や施設の現場で子どもたちとのかかわりを通して理解を深め保育計画、観察、記録及び評価について具体的に学ぶ。		4	4
		保育実践演習Ⅰ 保	演習	教育課程の全体を通して、保育士として必要な保育に関する専門知識及び技術、教養及び総合的な判断力、専門職としての理論観等が習得、形成されたか自らの学びを振り返り把握する。グループ討論、ロールプレイング等の授業を活用する。		1	1
		絵画・造形療法演習	演習	絵画・コラージュ・造形療法の理解を深めることを目的とし、身近にある素材を使った各種療法を実践し、学ぶ。		2	2
		音楽療法演習	演習	学習した音楽療法の理論に基づき、対象患者や子どもの動きに合わせた楽曲選択とその演奏方法を学ぶ。		2	2
		心理療法演習	演習	子どもと保護者への心理的介入を行うために、遊戯・行動療法の基礎を学び、面接技法のトレーニングを行う。		2	2
		ピアノ2(初等)	実技	幼児教育、初等教育における音楽活動に必要なピアノ演奏技能の向上をめざす。		2	2
		日本文学の世界	講義	日本文学史における語り物文学を中心に文学と芸能の世界について学ぶ。	4		4
4 年次	選 択 必 須	総合的な学習の時間の指導法(初等) 小	講義	各教科等で育まれる見方・考え方を総合活用し、実生活の課題を探究する学びを実現するために、その指導計画の作成と具体的な指導の仕方、学習評価に関する知識・技能を身につける。	2		2
		教育実習Ⅰ(指導・初等) 小 幼	実習	小学校または幼稚園で行う現場実習の事前指導・事後指導として教育実習に関する全般的理解を図る。		1	1
		教育実習Ⅱ(初等) 小 幼	実習	子どもと直接ふれあい、現場の教員から直接指導を受けることで、教育の現状を体験し理解に努める。		2	2
		教育実習Ⅲ(初等) 小 幼	実習	子どもと直接ふれあい、現場の教員から直接指導を受けることで、教育の現状を体験し理解に努める。		2	2
		教職実践演習(初等) 小 幼	演習	模擬授業や場面指導などを通して、教科指導、生徒指導などを実践できる資質能力を養う。		2	2
		保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ 保	実習	保育実習Ⅱは保育所での実習である。保育計画、設定保育、自己評価など実際に取り組み、保育士としての自己課題を明確にしていく。保育実習Ⅲは施設での実習である。養護や保育、介護が中心となり保育士の多様な業務を把握し保育士としての自己課題を明確にしていく。		2	2
		保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ 保	演習	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲにおける実習の事後指導として総括と自己評価を行い保育に対する課題や認識を明確にしていく。	1		1
		保育実践演習Ⅱ 保	演習	保育実習等を通じた自らの体験や収集した情報に基づき、保育に関する現代的課題についての現状を分析し、その課題への対応として保育士、保育の現場、地域、社会に求められることは何か多様な視点から考察し、課題解決への方向性及びその具体的内容や方法について検討する。		1	1
	選 択	ピアノ3(初等)	実技	幼児教育、初等教育における音楽活動に必要なピアノ演奏技能の向上をめざす。		2	2
	必 須	卒業研究・論文	卒業	1～3 年次の総まとめとして教育における課題を分析・検討し、保育学や教育学を研究する。 ※ 4 月にはじまり 2 月で終了する一年を通しての履修。	1	3	4
単位数 計					129	98	227

※両コースにおいて、全ての科目を選択(履修)可。但し卒業所要単位数の内訳は、コースにより異なります。

小 小学校教諭1種免許状取得科目 幼 幼稚園教諭1種免許状取得科目 保 保育士資格取得科目 社 社会福祉主事任用資格取得科目

■科目名・概要については変更になる場合があります。

●履修条件 修得順位を指定している科目は、下表の修得順位の順に履修してください。

修得順位 1	修得順位 2	修得順位 3
絵画・造形療法論	絵画・造形療法演習	
音楽療法論Ⅰ	音楽療法論Ⅱ	音楽療法演習
臨床心理学概論Ⅰ	臨床心理学概論Ⅱ	心理療法演習